

「志」教育と藩校教育

校長 石部 邦昭

「志」教育—「社会にどう貢献するか」

本校は、「志」教育を教育目標として、徳・知・体の調和のとれた、社会に有為な人材の育成を目指している。「志」教育の中心をなしているのが、小論文指導である。小論文指導は、1年次から始め全校体制で行われている。

圧巻は、2年次の終わりに書く「志望理由書」である。「何のために進学するのか」、「何を学ぶのか」、「大学卒業後はどのような職業に就きたいのか」、「その学部を卒業すると、社会的にどのような貢献ができるのか」。余白がびっしりあり、生半可な事では埋まらない。自分を振り返り、自分の生き方を模索する。もちろん高校2年次で考えたことがそのまま実現するというのは厳しい確率かもしれないが、自分と向き合い、自分の将来を思い、そしてあこがれを夢を形にすることが大事なことである。私は、この志望理由書の中の「社会的にどのような貢献が出来ると思うか」という部分が最も大切な事だと思っている。幕末の志士坂本龍馬は、「世の中に生を得るは、事を為すにあり」と言っている。社会にどう貢献するか。何を為すか。「志」教育の本質が問われている。

日新館教育—「ならぬことはなりませぬ」

本校は「文武両道」を校是としている。勉強と部活動の両立であるが、江戸時代には本当の意味の学問と武道を实践した藩校がたくさんあった。会津藩の日新館もその一つである。侍の子は6歳になると日新館に学ぶ前に町内グループ「什（じゅう）」に入った。什の集まりは毎日午後からで、当番の家に集まり「お話」と「遊び」が始まる。「お話」とは、全員正座で、最年長者といっても9歳の什長が心得、什の掟を話す。

- 一 年長者（としうえのひと）の言うことには背いてはなりませぬ。
- 一 うそをいうてはなりませぬ。
- 一 卑怯な振る舞いをしてはなりませぬ。
- 一 弱い者をいじめてはなりませぬ。（途中略）

七つあり、一条ごとにお辞儀をし、「ならぬことはなりませぬ」で締めるそれが終わると什長が、誰かこれに違反した者がいないか質す。もし違反者がいれば罰が与えられる。「お話」が終わると、夕方、什長が解散を宣言するまで一緒に遊ぶ。

『日本教育』10月号 日本教育会出版 会津図書館長野口信一氏より

結びに

「文武両道」をいく本校の「志」教育と日新館の「什」の教育を紹介したが、私達が最も大切にしなければならないのが、思いやりのある心を持った人物の育成であり、社会に貢献する、人の役に立つ人物の育成である。

生徒のひたむきな姿勢と教職員の情熱を大事にしながら、時には「ならぬことはなりませぬ」と毅然とした姿勢で、本校の「志」教育を推進していかなばと思っている。

諫高はあなたを待っています

～諫早高校オープンスクール～



(上) 全体会の様子



(上) 部活生徒による体験談の様子

来年度に高校受験を控えている中学3年生を対象にした諫早高校のオープンスクール（1日体験入学）が10月6日（土）に開かれました。吹奏楽部による歓迎演奏でオープニングを演出し、学校紹介・受検制度の説明に続いて、3人の体育部の主将と2人の文化部の部長が、部活動や学校生活・高校受検などについて体験談を発表しました。後半では各教室に分かれて本校の教員による模擬授業（16講座から1つを選択制）を受講。来年諫早高校に入学するかもしれない中学生に対して熱い模擬授業を行いました。模擬授業の一つ「おもしろ数学」では、本校科学部数学班の生徒による模擬授業がなされ、数学の隠れたおもしろさを丁寧に教える科学部数学班の生徒の様子がとても印象的でした。



(左)理科の実験をする中学生

(上)吹奏楽部の演奏

(左)中学生に指導する科学部の生徒

●10・11月の行事予定

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 23(火) 命の教育 | 11/ 5(木) バス遠足(3年) |
| 27(土) 進研実力(1・2年)、県一斉(3年) | 13(火) 清掃ボランティア(1年) |
| 28(日) 進研実力(2年)、県一斉(3年) | 17(土) 三地区PTA(大村) |
| 30(火) 薬物乱用防止講演会 | 20(火) 防災訓練 |
| 11/ 1(木) 創立記念日 | 21(水) 期末考査時間割発表、幼稚園実習 |
| 2(金) 県高校駅伝大会、幼稚園実習 | 27(火) 同和人権教育 |
| 3(土)～4(日) 進研模試(3年) | |

ア・カペラ コーラスに心酔♪ ～芸術鑑賞会～



毎年秋に実施されている芸術鑑賞会が、10月16日諫早文化会館にて全国で活躍中のア・カペラコーラスグループ「スタークラブ・PYLON」を招いて開かれました。会場は諫早高校生をはじめ約1000人がPYLON

の楽器のないコーラスを聴き、平和の大切さや人と人が協力し合うこと、人間の力と歌に込められている気持ちなど、たくさんの驚きと感動として生きる勇気をもらいました。



(上)歌に合わせて踊る生徒達

～生徒の感想から～

「音楽の力がすごいな」と感じました。文化会館の中にいる諫高生がひとつにまとまっていたなと感動しました。いろんなジャンルの歌を披露してくださいましたが、Popsにおいても何においても、私の心にとっても響いていました。『さとうきび畑』や『初恋』には痛切な思いを感じました。『おおきな古時計』には時計の気持ちを感じました。ひとつひとつの曲にその曲の背景があり、それを含めて声・そして体だけで表現して人に伝えるということが素晴らしかったと思います。音楽に慣れ親しんだ人も親しんでない人も心が動かされたと思います。ア・カペラは一人では成功しません。皆と助け合い初めて成功します。私たち諫早高校3年生も、助け合い友に支えられながら乗り切るんだと改めて感じました。

～「心のバリアフリー」できました。～ 【吹奏楽部 ことの海会大運動会でハッスルハッスル！】



吹奏楽部の伝説的行事である『ことの海大運動会』に本校吹奏楽部が今年も参加、晴れ渡る秋空の下で施設の利用者と一緒にとっても楽しいひとときを過ごしました。

この行事は、社会福祉法人ことの海会主催の運動会で、本校吹奏楽部が毎年アトラクションの出演（演奏）と運動会の参加に招待され参加しているイベントで今回はその第21回目となりました。今年は大村市大里町にある障害者厚生施設「鈴田の里学園」運動場で開催され、吹奏楽部の生徒達は本業（演奏）そっちのけ？で自分たちが主役と言わんばかりのハッスルぶりを見せ、施設の方や観衆の心をがっちり掴んだ一日となりました。

全国を相手に大活躍！

秋季国体・
レディースロードレース



(上)少年男子3000m決勝を走る茅原君

(左)レース後健脚をたたえあう浦川さん

本校陸上部が県内外で活躍しました。第62回国民体育大会(秋田わか杉国体)の陸上競技の少年女子部門において、本校の浦川有梨奈さん(3-3)が1500mで第6位、3000mで第5位に見事入賞。少年男子部門では茅原祐也君(1-6)が3000mで第8位に入賞し、全国に諫早高校陸上部の名前を改めてアピールしました。2人とも自己新記録をたたき出したのが入賞であるが、本人達はこの結果にもまだ満足していない様子で更なるレベルの向上を目指している。また、14日(日)に諫早で開催された「いさはやレディースロードレース」高校4.7キロでは同じく山口詩織さん(3-3)の優勝に続き、5位までを本校勢で独占。11月2日(金)に雲仙市小浜町で行われる長崎県高等学校駅伝大会に向けてチームに勢いを与えました。長崎県での連覇を伸ばし、今年も全国で熱い闘いを見せてくれることを期待したいです。(写真・記事は10月9日付長崎新聞から)

(下)先頭で集団を引っ張る山口さん

各種大会結果報告

陸上部 ●平成19年度 第62回国民体育大会(秋田わか杉国体陸上競技)

少年女子A	1500m	第6位	浦川 有梨奈(3-3)
少年女子共通	3000m	第5位	浦川 有梨奈(3-3)
少年男子B	3000m	第8位	茅原 祐也(1-6)

●平成19年度 第25回 全九州高等学校新人陸上競技大会

女子	総合の部	第3位	
	走幅跳	第2位	板山 瑤子(2-1)
	1500m	第2位	松本 千尋(1-1)
		第3位	林田 詩緒里(2-3)
	3000m	第2位	平山 遥子(2-2)
	800m	第5位	中村 知可子(2-3)
男子	1500m	第6位	松尾 郁哉(1-5)
	5000m	第3位	寺田 夏生(1-4)
		第3位	茅原 祐也(1-6)

弓道部 ●平成19年度 長崎県高等学校新人体育大会弓道競技

男子団体	第3位
------	-----

バドミントン部

●平成19年度 長崎県高等学校中地区新人体育大会バドミントン競技

男子団体	第3位	女子団体	第3位
------	-----	------	-----

バスケットボール部

●平成19年度 長崎県高等学校中地区新人体育大会バスケットボール競技

男子	第3位	女子	第3位
----	-----	----	-----

放送部 ●第29回九州高校放送コンテスト中地区大会

アナウンス部門	優秀賞	末次香織(2-5), 原 奈菜美(2-5)
朗読部門	優秀賞	武藤杏里(2-1), 植村有希(1-2), 中村靖子(1-3)

